

市政 トピックス

ラムサール
条約
湿地都市
認証

[TOPIC] 藤前干潟って どんなところ?

ラムサール条約とは

特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約

本市はラムサール条約湿地都市に認証されました

藤前干潟は、本市の南西部、庄内川・新川・日光川の河口にある、たくさんの生きものが息づく広大な干潟(湿地)です

市民参加のもとに守られてきた、
都会に残された貴重な干潟に
行ってみませんか?



藤前干潟を守る会ユース
(15~35歳のメンバー)
岸さん、中田さん、西さん

ラムサール条約登録湿地 藤前干潟の魅力

干潟とは

海の潮が引いたときに海の底(砂や泥)が広く現れる場所。川・海・陸の栄養素が集まり、豊かな生態系をつくり上げる

渡り鳥の休息地として国際的に重要

- 約150種類以上の鳥類が生息
- 年間約2万~3万羽が生息



春 チュウシャクシギ



夏 コアジサシ



秋 ハマシギ



冬 オナガガモ など

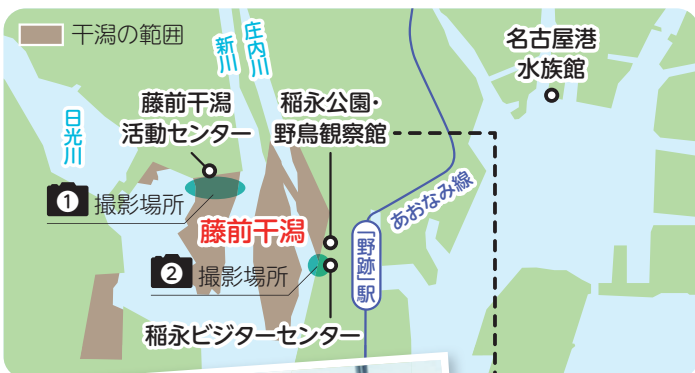
広く出現した干潟で
餌を食べたり休憩したりする
鳥類の姿を、
四季折々に楽しめます



夕日の美しい
スポットとしても人気!

都会の物流を支える
名古屋港の中にありながら、
絶滅危惧種などの貴重な
生きものも生息しています

貴重な生きものの生息地



絶滅危惧種

クロツラヘラサギ

12~2月ごろ

撮影:岸晃大



絶滅危惧種

ズグロカモメ

11~3月ごろ

撮影:岸晃大



他にも
いろいろな
生きものが
います



ハマヒルガオ



ヨシ



ヤマトシジミ



アシハラガニ



トビハゼ



野鳥観察館(港区)では
望遠鏡で観察も! **入館無料**

開館時間 午前9:00~午後4:30
休館日 月曜日・第3水曜日・
12/29(月)~1/3(土)

イベント

歩いて探してバードウォッキング **無料**

ウォーキング×バードウォッチング。歩いて鳥を探そう!

日時 2/1(日)午前10:00~午後12:30
対象 小学生以下は保護者同伴。抽選30人
受付 1/18(日)まで

イベントの申し込みや
その他のイベントに
ついてはこちら



- 干潟内に立ち入りをご希望の場合は藤前干潟活動センター ☎052-309-7260にお問い合わせください ※藤前干潟活動センターは12~2月は休館です
- お子さまだけで干潟に立ち入らないようにしてください

名古屋の環境行政の「原点」 藤前干潟の歴史

1990年代 ● 増え続けるごみに対応するために、藤前干潟を埋立処分場にする計画が進められたところ、自然を守ろうという市民の声などによって、1999年に埋め立て計画は中止に
市はごみを大幅に減らすことを呼びかける「ごみ非常事態宣言」を発表

市民との協働により、2024年には宣言
当時と比較して埋め立て量は**94%も減少!**



現在の処分場



1990年代の処分場

2002年 ● ラムサール条約において「国際的に重要な湿地」に登録される
2025年 ● 湿地の保全・活用の取り組みが認められ、本市が**ラムサール条約湿地都市に認証される**

藤前干潟の保全・活用に取り組み、美しい干潟を守っていきます
これからも適切なごみ・資源の分別をお願いいたします

藤前干潟を守る会ユースも
保全のために活躍中!



ラムサール条約の国際会議・
COP15での活動発表の様子



ラムサール条約湿地都市認証式

問合 エコパルなごや
☎052-223-1067
(月曜日休み)
FAX052-223-4199